

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



意志あるところに道は開ける

困難な状況下でこそ前向きに

初めてフランスに降り立ったあの日、期待と不安が交錯した気持ちを今でも昨日のこのように思い出します。パリとはかくも華やかなものか、と眼を輝かせていた私は、その後に待ち受ける壁や貴重な経験など全く頭がないまま、芸術と華の都に圧倒される毎日でした。そんな日々も束の間、自由を愛するフランスですら日常生活にさまざまな制限を課すほど、コロナ禍は深刻化しました。理想と程遠い現実には葛藤していたある日、「良くも悪くも二度とないであろうこの状況を、しかもパリで経験していることは一生の思い出になる！」と前向きに捉えて以降、私の赴任生活は本当のスタートを切りました。

知見+人脈は一生のもの

滞在2年目に入るとクリアパリ事務所の事業も徐々に再開し、イベントへの参加やブース出展、企画展の開催などで日本の魅力をPRする機会に恵まれました。また、仕事外でも、自主的に参加していた日仏交流サークルで出会ったフランスの友人に対し、日本食の豊かさや旅先の見どころ、アクティビティの提案など、私なりに日仏交流促進のためにできることを陰ながら続けていました。いずれにおいても、フランス人が日本文化に向ける鋭い目線や、時に小規模かつ盲点的な興味関心の分野に驚かされると同時に、自分自身の知識不足を痛感し、自国を知ることの大切さを認識させられました。

全てが貴重な経験ですが、私にとって最も思い出深いものは、やはり市川市のパートナーシティであるイッシー・レ・ムリノー市との交流です。計9日間のミニスタージュ（短期滞在型研修）で同市の施策を学んだほか、小学校の授業への参加や、高校生に市川市のプレゼ

市川市文化国際部国際交流課 主任 早坂 諒

ンテーションなどを行いました。これらの活動から得た経験と築いた人間関係は私に大きな影響を与え、いまにつながる財産となっています。今年の2月、パリを訪れる機会があり、サプライズで市の観光案内所を再訪しましたが、彼らは笑顔で私を迎え、再会を喜んでくれました。異国の地での出会いは本当にかけがえのないものだと実感すると



ともに、クリア派遣によってそのチャンスに巡り会えたことに心から感謝しています。

イッシー・レ・ムリノー市の高校生と巻き寿司作り

現在と未来への展望

帰国後、1年越しに現所属となった私は、青少年の国際交流や多文化共生事業のほか、姉妹・友好都市およびパートナーシティ交流事業として、イッシー・レ・ムリノー市を含む複数都市を担当しています。クリアで培った知識と経験、そしてネットワークを生かして今後どんなことができるか、さまざまなアイデアと可能性に溢れているように思います。5月以降、日本もついにアフターコロナを迎え、ブレーキがかかっていた交流事業が本格的に再始動していく中、自分の為すべきことはなにかを常に考え、目標に向かって精一杯取り組みます。

プロフィール・ほか

- クリア在籍から現所属まで
- 2019年4月～2020年3月 多文化共生部多文化共生課
- 2020年4月～2022年3月 パリ事務所
- 2022年4月～2023年3月 市川市文化スポーツ部文化芸術課
- 2023年4月～ 市川市文化国際部国際交流課